



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月26日

上場会社名 株式会社 不二家
 コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 宣行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務人事本部長 (氏名) 中島 清隆
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5978-8100

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	69,625	△4.5	503	212.6	900	92.0	△109	—
2019年12月期第3四半期	72,935	△2.7	161	△81.4	469	△56.5	△158	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 73百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 △252百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△4.23	—
2019年12月期第3四半期	△6.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	67,374	48,941	69.9
2019年12月期	71,645	49,423	66.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 47,096百万円 2019年12月期 47,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△3.2	1,800	△2.0	2,100	△10.5	500	△58.6	19.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	25,784,659 株	2019年12月期	25,784,659 株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	9,637 株	2019年12月期	9,538 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	25,775,082 株	2019年12月期3Q	25,775,193 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日～9月30日）は、世界的に感染が拡大している新型コロナウイルスの影響により、我が国の経済は急速に悪化し、極めて厳しい状況になりました。

食品業界においては、外出や会食の自粛があり、特に飲食業や物販店では大きな影響を受けております。

このような状況下にあつて当社グループは、従業員の雇用の確保や、健康の維持管理につとめ、新しい生活様式への対応を進めました。

当第3四半期は、第2四半期までに落ち込んだ売上の回復につとめ、特に洋菓子部門の販売の好調と生産性の維持・向上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、696億25百万円（対前年同期比95.5%）となりました。利益面では、営業利益は5億3百万円（対前年同期比312.6%）、経常利益は9億円（対前年同期比192.0%）と、増益となっております。

親会社株主に帰属する四半期純損失は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による特別損失を計上したこともあり、1億9百万円（前年同期は1億58百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第3四半期連結累計期間		前第3四半期連結累計期間		対前年同期比	増減
		2020年1月1日から 2020年9月30日まで		2019年1月1日から 2019年9月30日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
洋菓子事業	洋菓子	百万円 16,260	% 23.3	百万円 16,826	% 23.1	% 96.6	百万円 △565
	レストラン	3,046	4.4	4,387	6.0	69.4	△1,341
	計	19,307	27.7	21,214	29.1	91.0	△1,906
製菓事業	菓子	44,269	63.6	45,233	62.0	97.9	△963
	飲料	3,637	5.2	4,383	6.0	83.0	△745
	計	47,907	68.8	49,616	68.0	96.6	△1,708
その他		2,411	3.5	2,104	2.9	114.5	306
合計		69,625	100.0	72,935	100.0	95.5	△3,309

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

<洋菓子事業>

当社単体の洋菓子においては、先に述べた状況のなかで、「おうち時間スイーツ応援」と題して、積極的な施策に取り組み、特に若年層に向けた販売促進活動を展開し新規顧客の獲得につとめました。

その結果、4月以降、既存店においては売上・客数ともに前年同期の実績を上回ることができました。

店舗面では、新規販路の拡大として納品店を増やしたことにより、不二家洋菓子店の営業店舗数は第2四半期から増加に転じ、前年同期差41店増の871店となっております。

広域流通企業との取り組みについては、生産性の高い製造ラインを活用したシュークリームやマカロンなど、当社グループのブランドを生かした製品提案を、Webを活用した営業活動のもとで積極的に行い、6月以降の売上は前年同期の実績を上回ることができ、回復傾向となっております。

利益面では、4月以降の好調な売上のもと販売管理費の抑制につとめ、前年同期の実績を上回ることができました。

(株)スイートガーデンでは、広域流通企業向け製品の売上は着実に伸長しておりますが、ギフト需要の減少等によるチェーン店の売上不振が影響し、前年同期の売上を下回りました。この対策として、チェーン店において不二家製品の取り扱いを増やし、売上の向上につとめております。

(株)ダロワイヨジャパンでは、第2四半期までの休業の影響等が大きく、売上は前年同期を上回ることはできませんでした。しかし、第3四半期に入り積極的な販促活動が奏功し、また、インターネット通販等にも力を入れたことにより急速に売上が回復しております。利益面では販売管理費の抑制により、着実に改善を進めることができました。

この結果、洋菓子類の売上高は、162億60百万円（対前年同期比96.6%）となりました。

レストラン事業では、休業や出店先商業施設の営業時間短縮等の影響により、売上高は30億46百万円（対前年同期比69.4%）と、前年同期の実績を大幅に下回りました。このような中、ケーキ類の拡販や、料理のテイクアウトシステムを導入して売上回復をはかっており、また、不採算店舗の閉鎖を進め、損益改善につとめております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における洋菓子事業全体の売上高は193億7百万円（対前年同期比91.0%）となりました。

<製菓事業>

当社単体の菓子においては、「カントリーマアム」や「ホームパイ」「ピーナッツチョコレート」等の徳用大袋製品の売上が、コロナ禍の巣ごもり需要で伸長しました。しかし、夏期からの催事の縮小、帰省自粛によるお土産需要減少等により、前年同期の売上を上回ることはできませんでした。

一方、9月に発売した個人向け製品のホワイトチョコレート「ルック3（ホワイトラバーズ）」は、特に若年層に向けたTVCMやSNSでの販促効果もあって、売上確保に大きく貢献しております。

利益面では、生産性の向上等により、前年同期の実績を上回ることができました。

また、環境対策への取り組みとしてプラスチック包材のダウンサイジング等を積極的に行っており、当第3四半期には「ミルクィ」の紙パッケージ化を実施し、好評を得ております。

不二家（杭州）食品有限公司では、新型コロナウイルスの感染拡大により、工場の操業停止を余儀なくされた期間もありましたが、現地で人気のポップキャンディの新製品の販売が好調に推移しました。また、インターネット通販の拡大をはかるなどの施策も進めた結果、第1四半期に落ち込んだ売上を取り戻すことができ、売上・利益ともに前年同期の実績を上回ることができました。

この結果、製菓事業における菓子の売上高は、442億69百万円（対前年同期比97.9%）となりました。

飲料については、外出自粛による自販機売上の減少や店頭での販促活動の縮小が大きく影響しました。8月の猛暑によりレモンスカッシュ群の売上増はあったものの、売上高は36億37百万円（対前年同期比83.0%）と厳しい実績となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における製菓事業全体の売上高は、479億7百万円（対前年同期比96.6%）となりました。

<その他>

その他事業は、キャラクターグッズ販売及びライセンス事業、不動産賃貸事業並びに(株)不二家システムセンターの受注請負、データ入力サービスなどの事務受託業務であり、売上高は24億11百万円（対前年同期比114.5%）と前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は312億61百万円で、主に受取手形及び売掛金の減により前連結会計年度末に比べ37億46百万円減少いたしました。固定資産は361億12百万円で、主に有形固定資産や無形固定資産の減により、前連結会計年度末に比べ5億24百万円の減少となりました。

この結果、総資産は673億74百万円で前連結会計年度末に比べ42億71百万円減少いたしました。

また、流動負債は146億19百万円で、主に支払手形及び買掛金や未払金の減により前連結会計年度末に比べ30億80百万円減少いたしました。固定負債は38億13百万円で、主に長期借入金やリース債務の返済により前連結会計年度末に比べ7億8百万円減少いたしました。

この結果、負債は合計184億32百万円で、前連結会計年度末に比べ37億89百万円減少いたしました。

純資産は489億41百万円で、主に利益剰余金の減により前連結会計年度末に比べ4億82百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、2020年7月29日に発表した予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,309	16,518
受取手形及び売掛金	13,842	7,846
商品及び製品	3,943	3,999
仕掛品	344	318
原材料及び貯蔵品	2,045	2,029
その他	772	796
貸倒引当金	△250	△249
流動資産合計	35,007	31,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,045	7,148
機械装置及び運搬具（純額）	11,079	10,334
土地	3,647	3,647
リース資産（純額）	996	889
その他（純額）	684	1,090
有形固定資産合計	23,452	23,111
無形固定資産		
その他	2,319	2,036
無形固定資産合計	2,319	2,036
投資その他の資産		
投資有価証券	6,228	6,407
繰延税金資産	1,380	1,446
敷金及び保証金	2,191	2,144
退職給付に係る資産	277	273
その他	1,003	901
貸倒引当金	△216	△208
投資その他の資産合計	10,865	10,965
固定資産合計	36,637	36,112
資産合計	71,645	67,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,667	5,149
短期借入金	1,435	1,255
1年内償還予定の社債	140	90
リース債務	504	375
未払金	5,340	4,286
未払法人税等	445	302
賞与引当金	337	763
店舗閉鎖損失引当金	0	43
その他	2,827	2,352
流動負債合計	17,699	14,619
固定負債		
社債	90	-
長期借入金	350	131
リース債務	696	529
繰延税金負債	66	64
退職給付に係る負債	2,235	2,236
長期末払金	23	6
その他	1,060	845
固定負債合計	4,522	3,813
負債合計	22,221	18,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,065	4,065
利益剰余金	25,103	24,608
自己株式	△18	△18
株主資本合計	47,431	46,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150	174
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	△64	△90
退職給付に係る調整累計額	102	77
その他の包括利益累計額合計	189	160
非支配株主持分	1,802	1,845
純資産合計	49,423	48,941
負債純資産合計	71,645	67,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	72,935	69,625
売上原価	38,858	37,104
売上総利益	34,076	32,521
販売費及び一般管理費	33,915	32,017
営業利益	161	503
営業外収益		
受取利息	35	46
受取配当金	41	42
持分法による投資利益	219	254
その他	77	91
営業外収益合計	374	435
営業外費用		
支払利息	12	10
為替差損	20	1
その他	33	26
営業外費用合計	66	38
経常利益	469	900
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	-	2
助成金収入	-	67
特別利益合計	0	70
特別損失		
固定資産売却損	5	-
固定資産廃棄損	63	59
減損損失	-	63
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	43
臨時休業等関連損失	-	140
特別損失合計	69	305
税金等調整前四半期純利益	400	665
法人税、住民税及び事業税	525	628
法人税等調整額	△162	△75
法人税等合計	362	553
四半期純利益	38	112
非支配株主に帰属する四半期純利益	197	221
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△158	△109

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	38	112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	41
為替換算調整勘定	△256	△36
退職給付に係る調整額	△12	△25
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△18
その他の包括利益合計	△290	△39
四半期包括利益	△252	73
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△377	△137
非支配株主に係る四半期包括利益	124	210

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,214	49,616	70,830	2,104	72,935	—	72,935
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	463	463	390	853	△853	—
計	21,214	50,079	71,294	2,495	73,789	△853	72,935
セグメント損益(△は損失)	△1,575	3,860	2,284	399	2,684	△2,523	161

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△2,523百万円には、その他の調整額13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,537百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,307	47,907	67,214	2,411	69,625	—	69,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	414	414	407	822	△822	—
計	19,307	48,322	67,629	2,818	70,448	△822	69,625
セグメント損益(△は損失)	△1,697	3,913	2,215	704	2,920	△2,416	503

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△2,416百万円には、その他の調整額15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,431百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)
該当事項はありません。